

北辰小学校 森林教室

第3回 ~スギの人工林へ行ってみよう~

開催日：令和4年9月21日

場所：八海山国有林

令和3年度に引き続き、新潟県南魚沼市立北辰小学校4年生の児童45名を対象に、「総合的な学習の時間」の一環で森林教室を実施しています。3回目の今回は、成熟したスギ林の「辰の子の森」を飛び出して、造林事業が行われている八海山国有林へ行って来ました。植栽されて3年目のスギたちは児童の背丈と同じくらいの高さに成長していました。

「辰の子の森」のスギの葉

造林地の中へ出発！

山に入る前の注意を聞いて、造林地の中を歩き始めます。日頃歩いている道路や校庭と違って、スギの枝条やデコボコがあるので、一步一步足元を見て登り、まだ若いスギ林に到着しました。

森林教室を実施したのは、八海山国有林のうち170る2林小班(4.33ha、スギ9年生)と、170わ林小班(1.71ha、スギ3年生)です。

苗木と植付、その後の手入れのお話し

第1回目の森林教室の内容の復習をしながら、人工林の手入れについての説明を聞きました。日頃使わない林業の単語も、森林教室で繰り返して聞くと、馴染みが出てくるようです。



3年生のスギはみんなと同じくらいの高さだね



下刈体験

人工林の手入れの一つの“下刈”を、希望者が体験しました。大きな草刈り鎌をふるって、苗木を傷つけないように草を刈ります。



木の成長、木材のお話し

3年生のスギと9年生のスギの成長の違いを目で見て確認しました。
3年生のスギ造林地には、4年前に伐採されたスギの切り株が残っています。
スギの切り株の周りに集まって、伐採されたスギの説明を聞きました。



年輪を数えて、切り株の年齢を調べます

切り株は古くなり外側が崩れてきていて年輪を数えるのは大変そうでした。
それでもみんな興味深そうに年輪を触ったりメモを取ったりしていました。



ドローンで、上空からの森林観察

森林教室の最後は、ドローンを使っての、上空からの森林観察です。

モニターでドローンの映像を見ながら、若いスギ造林地や、成熟したスギ林、広葉樹林との違いの説明を聞きます。森林の種類によって見え方がずいぶん違うことに気が付いて、驚いている児童もいました。

ドローンが飛んでるのを初めて見た！



次の森林教室は「辰の子の森」に戻って秋の森林探検です。夏の森林からどんな風が変わっているか、楽しみですね。